

(別紙)

障害福祉分野のロボット等導入支援事業(令和4年度第二次補正予算分)
(施設等に対する導入支援分) 事業報告書

自治体名 岡崎市

【基本情報】

フリガナ	トクテイエイカツウホウジンヨツバノカイ
法人名	特定非営利活動法人四ツ葉の会
フリガナ	パステル
事業所名	ばすてる
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
グループホーム	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
6.7人	

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: 移乗介護 排泄支援 入浴支援
 移動支援 見守り・コミュニケーション

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	2人	1 移動・移乗・体位変換	16件	192件	30分	192人時間	48時間
		2 排泄介助・支援		0件		0人時間	#DIV/0!
		3 生活自立支援(※1)		0件		0人時間	#DIV/0!
		4 行動上の問題への対応(※2)		0件		0人時間	#DIV/0!
		5 その他の直接介護		0件		0人時間	#DIV/0!
間接業務		6 巡回・移動		0件		0人時間	#DIV/0!
		7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)		0件		0人時間	#DIV/0!
		8 見守り機器の使用・確認		0件		0人時間	#DIV/0!
		9 その他の間接業務		0件		0人時間	#DIV/0!
		16件	192件	30分	192人時間	#DIV/0!	

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援
※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等
※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

現在、月曜日の夜から金曜日の朝まで開所、夜1回入浴しているので(シャワーキャリーを使用している利用者は1名)ひと月当たりの発生件数を 4回×4週=16件とした。

<※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

入浴時間が30分程度なので、1件当たりの平均処理時間を30分とした。

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1人	1 移動・移乗・体位変換	16件	192件	30分	96人時間	96時間
		2 排泄介助・支援		0件		0人時間	#DIV/0!
		3 生活自立支援(※1)		0件		0人時間	#DIV/0!
		4 行動上の問題への対応(※2)		0件		0人時間	#DIV/0!
		5 その他の直接介護		0件		0人時間	#DIV/0!
間接業務		6 巡回・移動		0件		0人時間	#DIV/0!
		7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)		0件		0人時間	#DIV/0!
		8 見守り機器の使用・確認		0件		0人時間	#DIV/0!
		9 その他の間接業務		0件		0人時間	#DIV/0!
		16件	192件	30分	96人時間	#DIV/0!	

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

ひと月当たりの発生件数は変わらず。

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

1件当たりの平均処理時間は変わらず。

年間業務時間数想定削減率(%)

50.0%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

利用者の身体の上肢部分と下肢部分を抱え2人介助で入浴を行っていたが、機器導入後は1人で入浴できるようになった。

(4)ロボット機器等の導入により得られた気づきや今後の課題等について必ず記載すること。

風呂内の移動や湯船に入るためのシャワーキャリーを導入し、介助の負担も軽くなり、入浴支援が安全に行うことができるようになった。現在、グループホームに支援者として入っている職員は経験者や有資格者ばかりではない。初心者でも身体を痛めず支援できるロボット機器の導入は今後必要になってくるとされる。また、本体の価格が高いため、助成金がなければ導入が難しい。

(5)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の縮減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の縮減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下を回答すること。

縮減額(円)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

--

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

--